

## 令和六年能登半島地震に際してのお見舞い

令和六年の初春を祝う中、突然襲った令和六年能登半島地震において、会員の皆さま方におかれては、大変な不安と被害に遭われたものと、心からお見舞い申し上げます。

市内では道路や水道などのライフラインが被災したままで、未だに不便な生活を余儀なくされている地区もあり、一日も早い復旧が待ち望まれる状況にあります。

また、諸設備の破損などにより、営業が開始できない施設や工場等があり、すべての日常が元に戻るには、まだ相当の日数を要するものと思われまます。

そのような中、会員各位からは人命にかかわる重大な被害報告がなく、安堵している次第です。また、当センターの事務所には大きな被害がなく、一月四日より通常どおり事務を開始しています。

まだまだ余震が続くおそれもあり、会員の皆さまにおかれては、引き続き身の安全を第一に行動いただきますことを願うと共に、今年も、小矢部市シルバー人材センターが皆さんの心の拠り所となり、様々な活動を皆さんと一緒に展開できることを願って、取り急ぎ、お見舞いのご挨拶とさせていただきます。

小矢部市シルバー人材センター会員 各位

令和六年一月四日

小矢部市シルバー人材センター  
理事長 野澤敏夫  
職員 一同